

令和元年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1. 昨年度の「改善プラン」の検証

(1) 【成果】

2 学年は校内正答率が目標値を上回った。また、各観点も目標値を上回っている。昨年課題であった関心意欲も高まっている。3 学年では「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断・表現」「資料活用の技能」が目標値を上回った。ICT の活用や課題解決学習が効果を上げている。

(2) 【課題】

1 学年：「活用」が目標値大きく下回った。基礎の定着と同時に総合的に判断する力を育む必要がある。
2 学年：「世界の諸地域」の領域において、目標値を大きく下回った。その中でも特に主題図の読み取りなど技能の観点で目標値を下回っている。

3 学年：「社会的事象についての知識・理解」が目標値を下回った。解答形式の「短答」で特にその傾向がみられている。語句の定着が課題である。

2. 授業改善のポイント

※改善内容に観点【関】【思】【技】【知】を記入。

1 学年

- ・【関】 ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の興味関心を引き出す。
- ・【思】 グループ学習や調べ学習、発表など様々な活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。
- ・【技】 グループ学習や調べ学習、発表の中で様々な資料を用いてまとめ、生徒の資料活用の技能の伸長を図る。
- ・【知】 ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の知識・理解を伸長するとともに、ワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。

2 学年

- ・【関】 ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の興味関心を引き出す。
- ・【思】 グループ学習や調べ学習、発表など様々な活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。
- ・【技】 グループ学習や調べ学習、発表の中で様々な資料を用いてまとめ、生徒の資料活用の技能の伸長を図る。
- ・【知】 ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の知識・理解を伸長するとともに、ワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。

3 学年

- ・【関】 ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の興味関心を引き出す。また、特に公民的分野において、生徒の身近な題材を用いて授業を行うことで生活体験と結びついた学習を行う。
- ・【思】 グループ学習や調べ学習、発表など様々な活動を通して生徒の思考力の伸長を図る。単元のまとめにグループ討論なども行い、自らの言葉でまとめて表現する力を育む。
- ・【技】 グループ学習や調べ学習、発表の中で様々な資料を用いてまとめ、生徒の資料活用の技能の伸長を図る。
- ・【知】 ICT を活用し視覚的な教材を多く用いて、生徒の知識・理解を伸長するとともに、ワークや小テストなどの学習到達度の振り返り機会を設ける。